



溪流のわさび田で栽培したわさび



有東木発祥のわさび

溪流のわさび田で栽培

わさびは、アブラナ科の多年生水生草木で、日本原産の植物です。学名は「**Wasabia Japonica**」。わさびは冷涼の湿地帯でも生育（畑わさび）しますが、有東木のわさびは「水わさび」と呼ばれ、溪流に作られた田で栽培されます。



わさび田

わさび栽培に重要なのは「水」と「遮光」であり、

「水」は、山の湧き水でわさびに必要な養分が年間を通じて一定量。「遮光」は、日差しが強い夏は寒冷紗を張り、さらに田付近に落葉樹のハンの木等を植えて日除けにしています。

有東木のわさびは、栽培するには厳しい環境ですが、その分辛みや風味が凝縮され、すった後に独特の甘みがあります。

有東木わさびの歴史

約400年前、有東木の村人が山葵山に自生しているわさびを採り、井戸頭という湧水地に試しに植えたのが、わさびの栽培の始まりと言われています。

わさびの漢字表記は「山葵」となるため、「葵」を家紋とする江戸徳川家から庇護を受け、栽培技術などが門外不出となっていました。



わさび栽培発祥の碑

産地での取組

出荷先は、農家ごとに独自のルートがありますが、代表的なものとして、地域活性化事業のもと建てられた特産品展示販売施設の「うつろぎ」、いち早くインターネット販売を開始したわさび農家の「わさびの門前」、業者向けの卸販売をしているわさび生産者組織の「有東木こだわり倶楽部」の3カ所があります。

いずれも「わさび栽培発祥の地 有東木」をブランドとしており、他産地に負けないわさび栽培と販売をしています。



わさび作業



分別済みのわさび

わさびは、苗を植えてから1~2年で収穫できます。いつでも植えることができ、年中収穫することができます。



購入できる販売店は、「うつろぎ」（平日10:00~15:00、土日祝9:00~16:00）、駿府匠宿（第3日曜日）、市内ファーマーズマーケットじまん市4店舗などです。

「わさびの門前」、「有東木こだわり倶楽部」では、電話、インターネットでも注文を受けています。